

受付番号 第 号

2005年3月4日

時 分

山県市議会議長 様

山県市議会議員

寺町知正 印

一般質問通告書

下記のとおり質問したいので、通告します

質問番号 1 番 答弁者 助役

質問事項 ゴルフ場を残土で埋立てる問題について

質問要旨

1992年（H4年）3月5日付けで岐阜県土木部長は文書で、岐阜国際カントリーのゴルフ場14番ホールの排水の垂れ流し及び前面に傾斜しひび割れた擦壁についての抜本的な改善など、ゴルフ場の防災に関する改善について指導を行った。これに対して、ゴルフ場は長年のあいだ対応を怠ったのち、数年前、建設残土の土砂を入れて、コースを改変しようという計画に着手した。

これは、「経費をかけない方法としての選択」という人もいるし、「資金集め」という人もいる。

昨年夏（2004年8月26日）に市議会の特別委員会で視察したとき、現場責任者は、第1次工事の分として既に約20万立方メートルの土砂を入れた、最終的に、第3次工事まで進め、合計約80万立方メートルを入れる予定、と説明していた。

市の環境衛生課は、週2回のパトロールを実施し、また、県と市の合同パトロールは月に2回実施している、とも説明されている。

他方、住民には、何かまずいものが投棄されていないか、との不安が尽きない。

この事業について、先の2月18日、県が、森林法における「無許可伐採」として、業者に命令の前段階として位置付ける復旧計画の指導をした。残土搬入も中止された。

3つの部に関連するので助役に問う。

1、埋め立て計画の経緯と概要はどのようなか。

- 2 , 県の今回の指導の概要と今後の進行はどのようなか。
- 3 , 予想される、あるいは要求されるべき復旧措置はどのようなか。
- 4 , その措置の、既に埋立てた残土の中に入れられたものに関して、環境面での不安にどう応えるのか。
- 5 , ゴルフ場など大規模開発の工事に関しては、防災の観点から工事面積に対応した一定規模の仮設調整地、沈砂池等が要求されるものである。本件では、埋め立て着手に当たって調整地等防災措置が求められたのか。実際に適正な規模、適正な方法の設置されたといえるのか。求めているならその理由はどのようなか。
- 6 , 第2次工事、第3次工事の予定や時期、現在の申請の扱い状況はどのようなか。
- 7 , 保安林に関する手続きとその見込みはどのようなか。
- 8 , 予定地内に市道があるが、市道関連の手続きと状況はどのようなか。市（長）は廃道に同意するのか。
- 9 , 第1次工事、第2次工事、第3次工事に関して、今後、市はどう対応するのか。
- 10 , この埋め立てについて、1年前の2月と3月、私が議員になる前に一市民として市にこの事業のことを確認したとき、ゴルフ場の開発行為ではない、詳しいことは何も分からない、資料はない、県が認めてやっていることだ等として2度とも、突っぱねられた。これについてどう釈明するのか。

以 上